

科目名	基礎数学		学年・必修	3学年	選択	使用教科書				
	単位数	2				使用副教材 『新課程 チャート式 基礎と演習 数学Ⅱ+B』 チャート研究所 編著				
学習目標	数学的活動を通して、方程式・式と証明、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分、ベクトルについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。過去の入試などを解き進めることで、入試に必要な重要事項を再度確認し、大学入学共通テストレベルの問題に対応できる実践力を身に付けることを目標とする。									
学習方法	○一斉授業またはグループ学習 ○授業の持ち物 数学Ⅱ・Bの教科書、副教材、ノート ※ある程度の基礎知識は身に付けているものとして授業を進めます。予習復習を欠かさないようにしてください。									
学習評価	学習評価			評価方法						
	評価の観点	科目の評価の趣旨	評価方法	割合(%)						
	a	関心・意欲・態度	数学的活動を通して、数学Ⅱ・Bにおける考え方や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを選んで習得・活用しようとする。	1	授業による観察	授業への参加態度、行動、発言等を観察により評価	10			
	b	数学的な見方や考え方	演習を通して、方程式・式と証明、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分、数列そしてベクトルの考えにおける数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察し、表現するとともに、過程を振り返り多面的・発見的に考える。	2	小テスト	小テストの平均点により評価	10			
c	数学的な技能	数学的活動を通して、方程式・式と証明、図形と方程式、いろいろな関数および微分・積分、数列そしてベクトルの考えにおいて、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決する。	3	提出物	課題等の提出物により評価	10				
d	知識・理解	各単元の基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、それらを身に付ける。	4	定期考査		70				
他教科との関連性	該当する単元(教材)	関連する教科・科目	教科横断的な視点や関連する学習活動の例(進路選択を行う場合はその内容)							
	軌跡と領域	物理基礎	「2次関数に従った打球の軌跡」 物体を斜めに投げ上げた場合の動き、いわゆる放物運動を軌跡を使って表してみよう							
学期	月	単元名(教材)	配当時間	学習の目標・ねらい	学習評価	学習内容と学習のポイント	身に付けられる Okushirety 5.0			
前期	4	・オリエンテーション	1	・基礎数学の学習の取り組み方や分野を横断した思考を学ぶ。	○ 1 3	○ 2 4	○ 2 4	○ 2 4	・基礎数学の学習方法とその目標	学びに向かう姿勢
	4	・大学入学共通テストの分析 ・数学Ⅱ 第1章 式と証明 ・数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式	8	・整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにするとともに、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。また、方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して二次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。	○ 1 3	○ 2 4	○ 2 4	○ 2 4	・3次式の展開と因数分解 ・二項定理 ・整式の割り算 ・分数式とその計算 ・恒等式、等式、不等式の証明 ・複素数とその計算 ・2次方程式の解 ・解と係数の関係 ・剰余の定理と因数定理 ・高次方程式	思考・判断・表現力
	5	・数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 ・数学Ⅱ 第4章 軌跡と領域	6	・座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	○ 1 3	○ 2 4	○ 2 4	○ 2 4	・直線上、平面上の点 ・直線、円の方程式 ・2直線の関係 ・円と直線、2つの円 ・軌跡と方程式 ・不等式の表す領域	思考・判断・表現力
	6 / 7	・数学Ⅱ 第5章 三角関数	10	・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解する。 ・三角関数とそのグラフの特徴について理解する。 ・三角関数について、相互関係などの基本的な性質を理解すること。三角関数の加法定理を理解し、それを用いて2倍角の公式を導く。	○ 1 3	○ 2 4	○ 2 4	○ 2 4	・角の拡張 ・三角関数 ・三角関数のグラフ、性質 ・三角関数を含む方程式、不等式 ・三角関数の加法定理 ・2倍角、半角の公式 ・三角関数の合成	思考・判断・表現力
	8	・数学Ⅱ 第6章 指数関数と対数関数	8	・指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○ 1 3	○ 2 4	○ 2 4	○ 2 4	・指数の拡張 ・指数関数 ・対数とその性質 ・対数関数 ・常用対数	思考・判断・表現力
	9	・数学Ⅱ 第7章 微分法 ・数学Ⅱ 第8章 積分法	10	・微分積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	○ 1 3	○ 2 4	○ 2 4	○ 2 4	・微分係数 ・導関数とその計算 ・接線の方程式 ・関数の増減と極大、極小 ・関数の増減、グラフの応用 ・不定積分 ・定積分 ・定積分と図形の面積	思考・判断・表現力
	10				○ 1 3	○ 2 4	○ 2 4	○ 2 4		
後期	11 / 12	・数学B 第1章 平面上のベクトル ・数学B 第2章 空間のベクトル ・数学B 第3章 数列	12	・いろいろなベクトルや数列の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	○ 1 3	○ 2 4	○ 2 4	○ 2 4	・ベクトルとその演算 ・ベクトルの図形への応用 ・図形のベクトルによる表示 ・空間のベクトル ・ベクトルの成分、内積 ・位置ベクトル ・空間の点 ・座標空間における図形 ・数列と一般項 ・等差数列、等比数列 ・いろいろな数列の和 ・階差数列 ・漸化式 ・数学的帰納法	思考・判断・表現力
	1	・全分野を横断した数学の基礎的な考え方、活用、実践問題	5	・全分野の基礎を活用し、全分野を横断した数学的思考を行えるようになる。	○ 1 3	○ 2 4	○ 2 4	○ 2 4	・全分野を横断した考え方と他教科との関連	思考・判断・表現力